# News Release

No.26-0100A

報道関係各位

2026 年 9 月 18 日

ヒューマンアカデミー株式会社

## サソリの生態をロボットの動きとプレゼンテーションで表現
## 小学 5 年生・小舟戸 堅斗さんが大会 MVP を受賞
## 「第 16 回ヒューマンアカデミージュニアロボット教室 全国大会」を開催

教育事業を展開するヒューマンアカデミー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：田中 知信、以下「当社」）の児童教育事業「ヒューマンアカデミージュニア」は、2026 年 8 月 22 日（土）に「第 16 回ヒューマンアカデミージュニアロボット教室 全国大会」を東京大学安田講堂で開催しました。

全国の予選審査を通過した未就学児から中学生までの 37 名が出場し、2 部門で日頃の学習成果を競いました。大会 MVP には、愛知県・東山公園教室の小舟戸 堅斗さん（小学 5 年生）が輝きました。

**【本件のポイント】**

- 全国の予選審査を通過した未就学児～中学生 37 名が東京大学安田講堂に集結
- 昨年もアイデアコンテストで受賞した小舟戸 堅斗さん（小学 5 年生）が、「おく病だけど危険なサソリロボット」で大会 MVP を受賞
- 森永製菓株式会社との特別コラボレーションによる「射抜いて天晴！ロボ流鏑馬」を実施。テクニカルコンテストでは宮原 律さん（小学 6 年生）が優勝

■取材・本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原・高橋
E-mail：ha_info@athuman.com

**【背景】**

近年、AI をはじめとするテクノロジーの進化に伴い、学校教育や社会全体で「STEAM 教育」や自ら課題を見つけて解決する力の重要性が高まっています（※）。当教室では、ロボット製作を通じた試行錯誤の体験から、子どもたちの主体性と創造性を育んでいます。本大会は、こうした日頃の学びの成果を発表し、子どもたちが互いに刺激を受けながら学びを深める機会として開催しています。

（※）文部科学省「STEAM 教育等の各教科等横断的な学習の推進」

## ■本件の概要

本大会は、国内外の「ヒューマンアカデミージュニア ロボット教室」で学ぶ子どもたちが、日頃の学習成果を発表する場として 2011 年より毎年開催しています。全国の生徒たちが互いの知識やアイデアを共有し、交流を深めるとともに、同じ目標に向かって競い、磨き合うことを通じて、科学や工学への興味・関心を育むことを目的としています。

第 16 回となる今回は、自ら考案・製作したオリジナルロボットを発表する「アイデアコンテスト」と、ロボットの正確性やスピード、技術力を競う「テクニカルコンテスト」の 2 部門を実施。全国から予選審査を通過した未就学児～中学生 37 名が東京大学安田講堂に集結し、日頃の学習成果を披露しました。

テクニカルコンテストでは、森永製菓株式会社との特別コラボレーションとして、「チョコボール」を的にした「流鏑馬（やぶさめ）」をテーマに競技を実施しました。また、アイデアコンテストでは、子どもたちが自ら考案・製作した個性豊かなロボットを発表し、その仕組みや工夫したポイントを審査員や来場者に向けてプレゼンテーションしました。

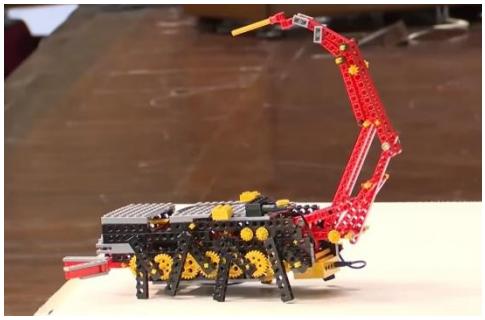
## ■昨年の最優秀賞に続き、小舟戸 堅斗さん（小 5）が大会 MVP

大会 MVP に輝いたのは、愛知県・東山公園教室の小舟戸 堅斗さん（小学 5 年生）です。小舟戸さんは昨年の第 15 回大会にも出場し、アイデアコンテストのミドルコース最優秀賞を受賞。今年は「おく病だけど危険なサソリロボット」を製作し、再び全国大会の舞台に挑みました。

サソリの 8 本の脚や大きなハサミを再現するため、限られた部品を工夫して組み合わせ、ハサミを大きく動かしながら力強く歩くロボットを製作。左右の脚のギアの回転方向を変えることで、危険を感じると向きを変えて逃げるサソリの動きを表現しました。

プレゼンテーションでは、「本当に逃げるのか確かめてみたいと思います。」と会場に呼びかけ、来場者が一斉に「わっ！」と声を上げ、サソリを驚かせるオリジナリティあふれる演出を披露。逃げ道を失い、毒針で攻撃する仕掛けも実演しました。大会審査委員長の高橋 智隆先生からは、毒針で刺す瞬間の動きについて、サソリの怖さと魅力が伝わると評価されました。

表彰式で小舟戸さんは「今まで生きてきた中で一番うれしい。応援してくれた方、ありがとうございました。」と喜びを語りました。



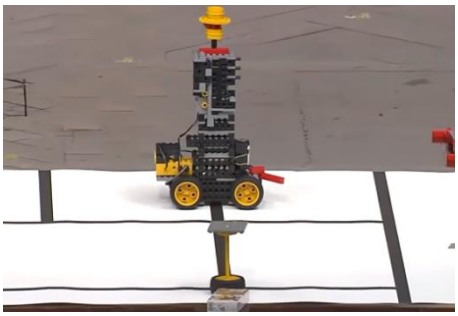
MVP 作品「おく病だけど危険なサソリロボット」

表彰式で笑顔を見せる小舟戸 堅斗さん

■取材・本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原・高橋
E-mail：ha_info@athuman.com

## ■敗者復活から頂点へ！宮原 律さんがテクニカルコンテストで優勝

ロボットの正確性やスピード、技術力を競う「テクニカルコンテスト」では、岡山県・倉敷中央教室の宮原 律さん（小学 6 年生）が優勝しました。



ロボットを走らせながら矢を射る様子

テクニカルコンテスト優勝の宮原 律さん

今年のテーマは「流鏑馬（やぶさめ）」。森永製菓株式会社との特別コラボレーションとして、3 個の「チョコボール」を的に見立て、走行するロボットから矢を放って倒す競技を実施しました。

宮原さんは敗者復活から決勝トーナメントへ進出。決勝では同じ倉敷中央教室の選手との「同門対決」を制し、優勝を果たしました。

高橋 智隆先生は、同じ教室の選手同士でもロボットの仕組みが大きく異なり、矢の重量や的に当たった時の強さなど、さまざまな条件を考える必要があった競技だったと講評。敗者復活から勝ち上がった宮原さんの優勝をたたえました。優勝した宮原さんには、チョコボール 1 年分（365 個）などが贈られました。

**【テクニカルコンテスト結果】**

優勝：宮原 律さん（小学 6 年生）
第 2 位：岸本 幹大さん（中学 2 年生）
第 3 位：辻尾 颯馬さん（中学 1 年生）

## ■個性豊かなロボットが集結 アイデアコンテスト各部門の最優秀賞

アイデアコンテストでは、年齢や学習コースに応じた 4 部門で審査を実施しました。プレプライマリー／プライマリーコースでは石部 泰祐さん（年長）の「セキュリティハウスロボット」、ベーシックコースでは稲熊 陸さん（小学 3 年生）の「はこべるクン」、ミドルコースでは成田 陽さん（小学 4 年生）の「おしゃべりロボット ケンタロウ」、アドバンスコースでは堀 正佑さん（中学 3 年生）の「ロボジェンガ」がそれぞれ最優秀賞を受賞しました。

※全受賞者については、最終ページ【別紙】「第 16 回ヒューマンアカデミージュニアロボット教室 全国大会 受賞者一覧」をご覧ください。

石部 泰祐さん

稲熊 陸さん

成田 陽さん

堀 正佑さん

■取材・本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原・高橋
E-mail：ha_info@athuman.com

**【第 16 回ヒューマンアカデミージュニアロボット教室 全国大会 開催概要】**

| | |
|---|---|
| 日時 | 2026 年 8 月 22 日（土）10:15～17:00 |
| 会場 | 東京大学 安田講堂 |
| 映像配信 | 公式 YouTube チャンネル「ヒューマンアカデミーこどもちゃんねる」にて配信<br>https://www.youtube.com/channel/UC1ZVIFL_BXecBm7oTJlRDgw |
| 内容 | アイデアコンテスト・テクニカルコンテスト、高橋 智隆先生講演など |
| 主催 | ヒューマンアカデミー株式会社 |
| 共催 | 一般社団法人 未来創生 STREAM 教育総合研究所（RISE） |
| 協賛・協力企業 | 森永製菓株式会社、シャープ株式会社、JENESIS 株式会社、ヴイストン株式会社、東京法令出版株式会社、ユカイ工学株式会社、株式会社ロボ・ガレージ、株式会社アーテック（順不同） |
| 大会審査委員長 | 高橋 智隆先生（ロボット教室アドバイザー、ロボットクリエイター、株式会社ロボ・ガレージ代表取締役） |

**■審査委員長 高橋 智隆先生総評**

「まずは、この全国大会という場に選ばれて出場できたことは、本当に栄誉なことだと思います。ロボット教室で知識や技術を学び、モチベーションを高めた卒業生が、さまざまな分野で活躍していることをうれしく思います。

今回は特に優れたロボットがたくさん登場し、白熱した競技やバラエティに富んだアイデアから、私自身も多くのインスピレーションをいただきました。出場した子どもたちには、お互いに切磋琢磨しながら、ぜひまた来年もここに戻ってきてほしいと思います。」

**■高橋 智隆先生（ロボット教室アドバイザー ／ 大会審査委員長）**

ロボットクリエイター／株式会社ロボ・ガレージ 代表取締役
東京大学先端科学技術研究センター特任准教授／福山大学・大阪電気通信大学客員教授等を歴任
2003 年京都大学工学部物理工学科卒業。卒業と同時に株式会社ロボ・ガレージ創業。
ロボットの世界大会「ロボカップ」で史上初の 5 年連続優勝を達成。
ロボットクリエイターとして、ロボットの研究、設計、デザイン、製作を手がけている。
代表作に、乾電池 CM「エボルタ」、組み立てロボットキット「週刊 ロビ」、ロボット電話「ロボホン」、ロボット宇宙飛行士「キロボ」 など。

**■「ヒューマンアカデミージュニア ロボット教室」とは**

「ヒューマンアカデミージュニア ロボット教室」は、ロボットクリエイターの高橋智隆氏をアドバイザーに迎え、2009 年 6 月にスタート。未就学児（5～6 歳）から中学生を対象に全国で展開し、教室数は 2,000 教室以上、在籍生徒数は 27,000 名を超えるロボットプログラミング教室です（※2026 年 3 月末時点）。5 歳から中学生までお子さまの年齢に合わせたさまざまなコースをご用意しており、「プレプライマリーコース」「プライマリーコース」「ベーシックコース」では、動くロボットを自ら作り上げ、試行錯誤を繰り返しながら構造や動きの仕組みを学びます。「ミドルコース」「アドバンスコース」では、さらにマイコンブロックやセンサーが追加され、専用タブレットを用いたビジュアルプログラミングでより複雑な動きを実現します。

子どもたちに科学の驚きと感動を与え、楽しく夢中になってロボット製作に取り組むうちに、新しい時代を生き抜く上で必要となる学びの基盤となる力が養われているというプログラムです。

●公式サイト URL：https://kids.athuman.com/robo/

■取材・本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原・高橋
E-mail：ha_info@athuman.com

**■ヒューマンアカデミーについて**　https://manabu.athuman.com/

ヒューマンアカデミーは、学びの面白さを提供する「Edutainment Company」として、1985 年の創設以来、時代や社会の変化にあわせながら 800 以上の講座を編成しました。未就学児童から中高生・大学生・社会人・シニア層とあらゆるライフステージにおける STEAM 教育やリスキリング、学び直しの支援を行っています。

さらに、独自の「ヒューマンアカデミーGIGA スクール構想」を推進し、学習支援プラットフォーム「assist」を開発。SELFing サポートカウンセラーと講師が、個別に学習目的や目標にあわせた進捗管理や相談などの学習サポートをします。私たちは、常に最先端の教育手法やテクノロジーを取り入れ、学びの喜びを追求し、質の高い教育サービスを提供していきます。

**■ヒューマングループについて**

1985 年の創業以来「為世為人（いせいいじん）」を理念に掲げ、教育を中核に人材、介護、保育、IT、美容、スポーツと多岐にわたる事業を展開しています。深刻な社会課題である「労働人口減」に対し、各事業の専門性を活かした 4 領域で解決を推進しています。

教育・人材事業による「海外人材の活用」「成長産業分野の専門教育と労働移動」、介護（通所・訪問・ホスピス等）や保育・学童運営による「国内労働力の確保」、RPA・AI・IT 活用を通じた「生産性の向上」に注力。SDGs への貢献を通じて、誰もが自分らしく生き、学び、働ける社会の実現と、時代に即した労働環境の革新に取り組んでいます。

●ヒューマンホールディングス ウェブサイト：https://www.athuman.com/

**会社概要**

ヒューマンアカデミー株式会社

●代表者　：代表取締役　田中　知信　●所在地：東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 1 階
●資本金　：1,000 万円　●URL　：https://manabu.athuman.com/

■本件に関するお問い合わせ■　ヒューマンアカデミー株式会社　担当　原・高橋
E-mail：ha_info@athuman.com

■ヒューマングループに関するお問い合わせ■　ヒューマングループ　広報担当　若林
E-mail：kouhou@athuman.com

**第16回 ヒューマンアカデミージュニア ロボット教室全国大会　受賞者一覧（敬称略）**

| 賞・部門 | 氏名 | 学年 | 県名 | 教室名 | ロボット名 |
|---|---|---|---|---|---|
| MVP | 小舟戸　堅斗 | 小学5年生 | 愛知県 | 東山公園教室 | おく病だけど危険なサソリロボット |
| プレプライマリー／プライマリーコース　最優秀賞 | 石部　泰祐 | 年長 | 東京都 | 大塚教室 | セキュリティハウスロボット |
| ベーシックコース　最優秀賞 | 稲熊　陸 | 小学3年生 | 愛知県 | 大高青山教室 | はこべるクン |
| ミドルコース　最優秀賞 | 成田　陽 | 小学4年生 | 愛知県 | 大高青山教室 | おしゃべりロボット　ケンタロウ |
| アドバンスコース　最優秀賞 | 堀　正佑 | 中学3年生 | 熊本県 | 熊本県教育会館教室 | ロボジェンガ |
| テクニカルコンテスト　優勝 | 宮原　律 | 小学6年生 | 岡山県 | 倉敷中央教室 | － |
| テクニカルコンテスト　第2位 | 岸本　幹大 | 中学2年生 | 岡山県 | 岡山西大寺教室 | － |
| テクニカルコンテスト　第3位 | 辻尾　颯馬 | 中学1年生 | 愛知県 | 大高青山教室 | － |
| テクニカル　特別賞 | 飯田 大和 | 中学2年生 | 滋賀県 | 彦根インター教室 | プラロボホン |
| 協賛社特別賞（森永製菓株式会社） | 松本 理司 | 年長 | 岡山県 | 岡山西大寺教室 | きょうだいほりほりロボ |
| 協賛社特別賞（森永製菓株式会社） | 堀川　裕誠 | 小学2年生 | 奈良県 | 香芝北教室 | 往復 train「みらい」 |
| 協賛社特別賞（森永製菓株式会社） | 鈴村　心瑠 | 小学5年生 | 愛知県 | 大口五条川教室 | たたむっち |
| 協賛社特別賞（森永製菓株式会社） | 細川　昊来 | 小学2年生 | 埼玉県 | 浦和コルソ教室 | ペッタン！もちつきロボット |
| 協賛社特別賞（ヴイストン株式会社） | 柿本　琉羽 | 小学5年生 | 兵庫県 | ブルメール舞多聞前教室 | リアルメカトカゲ |
| 協賛社特別賞（ヴイストン株式会社） | 國領　仁人 | 中学1年生 | 滋賀県 | 彦根インター教室 | ロボドラゴン |
| 協賛社特別賞（ヴイストン株式会社） | 雪竹　美伶 | 中学1年生 | 埼玉県 | 浦和コルソ教室 | － |
| 協賛社特別賞（ヴイストン株式会社） | 小林　叶人 | 小学6年生 | 千葉県 | 千葉ニュータウン中央教室 | － |
| 協賛社特別賞（ヴイストン株式会社） | 志村　蒼斗 | 小学5年生 | 山梨県 | 甲府南教室 | － |
| 協賛社特別賞（シャープ株式会社） | 宮原　律 | 小学6年生 | 岡山県 | 倉敷中央教室 | － |
| 協賛社特別賞（株式会社アーテック）実験キット | 小山　寛仁 | 中学2年生 | 岡山県 | 倉敷中央教室 | － |
| 協賛社特別賞（株式会社アーテック）望遠鏡 | 麻生　晟蓮 | 小学3年生 | 滋賀県 | 彦根インター教室 | 鼻ながボクサー |
| ヒューマン特別賞 | 菊川　優仁 | 小学5年生 | 広島県 | 西条町御薗宇教室 | 波乗り海賊船 |
| ヒューマン特別賞 | 舟津　礎 | 中学2年生 | 愛知県 | 東刈谷駅前教室 | ロボソート |
| ヒューマン特別賞 | 植村　昊生 | 中学1年生 | 熊本県 | 流通情報会館教室 | ArtBot-P |
| ヒューマン特別賞 | 松井　友希 | 小学6年生 | 福岡県 | 八幡東教室 | － |
| ヒューマン特別賞 | 畠　陽人 | 小学6年生 | 大阪府 | 狭山池前教室 | － |
| ヒューマン特別賞 | 加藤　志優 | 小学5年生 | 東京都 | 江戸川大杉教室 | － |
| ユカイ工学賞 | 田中　悠理 | 年長 | 東京都 | 中青戸教室 | スカイライドロボ |
| RISE特別賞 | 鈴村　心瑠 | 小学5年生 | 愛知県 | 大口五条川教室 | たたむっち |
| RISE特別賞 | 細川　昊来 | 小学2年生 | 埼玉県 | 浦和コルソ教室 | ペッタン！もちつきロボット |
| RISE特別賞 | 麻生　晟蓮 | 小学3年生 | 滋賀県 | 彦根インター教室 | 鼻ながボクサー |
| RISE特別賞 | 成田　陽 | 小学4年生 | 愛知県 | 大高青山教室 | おしゃべりロボット　ケンタロウ |
| RISE特別賞 | 國領　仁人 | 中学1年生 | 滋賀県 | 彦根インター教室 | ロボドラゴン |
| RISE特別賞 | 清水　千尋 | 小学6年生 | 滋賀県 | 彦根インター教室 | － |
| RISE特別賞 | 加藤　雅基 | 中学2年生 | 滋賀県 | 彦根インター教室 | － |
| RISE特別賞 | 大北　涼介 | 中学2年生 | 東京都 | 東陽町教室 | － |